



第1ハートウイング全景 (庄原市口和町413番地)

# 口和福社会20周年誌

支えつづける人々



第2ハートウイング全景 (庄原市上原町413番地3)

社会福祉法人口和福社会  
Kuchiwa welfare group



# 理事長あいさつ



## 記念誌発刊に当たり感謝の言葉

社会福祉法人和福祉会  
理事長

有田好隆

今を去る20年、平成6年4月1日、ハートウイングが介護施設として業務を開始し、以来多くの皆様方の介護をさせて頂き今日に至っております。あらためて20年の歳月、施設をご利用頂いた皆様方、又ご家族の皆様方に対しましてその間における不拙の数々のお詫びと併せ感謝の念を込め、襟を正して厚くお礼を申し上げます。

現在ハートウイングでは、介護の指針、重点目標として、「小さな気遣いが大きな安心へ」「老後は明るく楽しく」というこの二点を掲げ、日々業務に専念しております。やがて到来するであろう超高齢化の現実を想定する時、現在よりもはるかに介護を求められる高齢者の増加が必然的な状況として考えられます。

そのような状況においてハートウイングはこれ等の対応策を思案する中、各方面の皆様からご指導、ご協力を得てショートステイの拡充、拡大に意を決し年々細々と歩みを続ける中、偶然にも開設20周年の年にショートステイ100床の整備を成し得ることができました。

加えて、発足時40床であったハートウイングが20年の歳月を経て増床、新設を重ね178床の施設に成長し、また、昨年度介護保険対象以外の高齢者の皆様が自由にご利用いただける、通所サービス「サロン」を開設することができました。このことは、ひとえにご利用者、ご家族を始め地域の皆様や多くの医療、保健、福祉行政関係の皆様の温かいご愛顧の賜と肝に銘じております。

今後も、介護を必要とされている皆様方にとりまして、僅かでもお役に立つことができるよう役職員一体となって切磋琢磨して参る所存であります。開設20周年を迎えるにあたり、過去、現在の口和福祉会役員を代表し、心より感謝とお礼を申し述べ発刊の言葉とさせて頂きます。

第2ハートウイング東館

# 施設長あいさつ



## 20周年を迎えて

施設長  
**大田一博**

口和福祉会ハートウイングは平成6年4月1日、地域の皆様の期待を一身に受け関係機関各位のご尽力により「口和福祉村」の一角に基幹施設として開設されました。

当時は、特別養護老人ホーム（30床）を中心に短期入所（10床）、デイサービスセンター、在宅介護支援センターを併設、翌平成7年2月1日には軽費老人ホームケアハウス（30床）を開設し高齢者福祉の総合施設が誕生致しました。以後、町内はもとより近隣市町村の高齢者福祉の一翼を担わせていただくこととなりました。

高齢者福祉は平成12年に実施された介護保険制度により大きく様変わりしたように思われます。それまでの措置制度のもとでの施設経営は、ご利用者個々との契約による運営となり、当時は手探り状態の中での制度変革への対応であったように記憶しています。当時は町内の医療、保健、福祉関係者が任意に介護保険制度の学習会を実施するなど精力的に介護保険制度への取り組みがなされていました。

以来、介護保険制度は3年毎に行われる制度改正により現在では、より在宅介護への移行が進められ地域の力により高齢者福祉を支えて行くよう将来的なビジョンが描かれています。

口和福祉会では、地域の現状を踏まえ在宅介護の一助になるよう短期入所施設の増床、新設を実施してきました。平成16年から段階的に実施した短期入所の増床、新設は今年平成26年4月をもって100床にすることができました。医療保険、介護保険とも在宅医療、在宅介護が進められる中で、短期入所100床は必ずや地域の皆様方の在宅介護の一助になり得ると思っております。

超高齢化社会が目前に迫り来る中、口和福祉会ハートウイングは皆様に安全と安心をご提供できるよう役職員一丸となって邁進して行く所存であります。今後とも皆様のご指導、ご鞭撻を頂きますようお願い申し上げお礼の言葉とさせて頂きます。



# 統括係長あいさつ



## 20周年を迎えて

統括係長

**盛 崎 小百合**

口和福祉会ハートウイングが平成6年4月に開設して以来、20周年を迎えることが出来ました。これもひとえにご家族の皆様、地域の皆様、医療、福祉、行政の皆様の温かいご支援ご協力の賜と心より篤く感謝申し上げます。

20年間を振り返ってみると、福祉の世界は大きく様変わりしました。平成12年にそれまでの措置制度から介護保険制度に移行となり、私達福祉現場で働く職員には戸惑いも見られましたが、その後14年を経過する間、口和福祉会も大きく成長して今では、特別養護老人ホーム30床、ケアハウス30床、認知症対応型グループホーム9床、自立支援型グループホーム9床、併設型短期入所30床、単独型短期入所70床を合わせ180床に近い規模となりました。更に介護保険外の通所サービスサロンの新設等、施設充実に努力し特に短期入所に対する100床の整備は目前に迫る超高齢社会に対応した的を得た事と感じております。

国は在宅介護の充実を高齢者福祉施策の柱としていますが、現実は一人暮らし、二人暮らしの高齢者世帯が多くなり自宅で介護したくても出来ない等、様々な問題がありそれを解決することはとても困難な状況であると言えます。そのような状況の中での100床の短期入所施設整備が出来たことは、在宅介護で困っておられる方の一助に成り得るのではないかと思っております。

ハートウイングは、常に満床の状況で介護サービスをご利用いただいており、口和福祉会の介護理念である「家族的な雰囲気の中、小さな気づかいが大きな安心へ」を職員一同心掛けながらご家族の皆様が安心され、利用者様が落ち着いて生活されるよう心ある介護を努めさせて頂いております。

今後ともご家族の皆様、各関係機関の皆様方のご指導、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げ、20周年のご挨拶とさせていただきます。